

# 週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2012.08.06-08.10

記事の詳細は、情報検索サービス「キジサク」でご覧になれます

\*記事は東京発行・最終版

## CHINA

8月7日(火)

青島に中国版シリコンバレー、ソフト・バイオなど市場創造型集積

青島市に中国版シリコンバレーを目指した産業集積地が誕生する。総額約560億円を投資、東京ドーム2.5個分の敷地に、ソフトウェアやバイオなど市場創造型の企業を集めた団地を建設。(1面)

アマダは、中国社に生産委託  
中小型汎用プレス機械

アマダは、中国のプレス機械メーカー、寧波初機機械工業と中国・東南アジア向け機械の生産で提携する。寧波CFGに中小型汎用プレス機械の生産を委託する。年販100台を目指す。(1面)

省エネの日中プロ47件調印  
累計218件

経済産業省は、中国政府と共同で「第7回日中省エネルギー・環境総合フォーラム」を都内で開き、日中間の官民協力プロジェクト47件を調印した。06年からの累計で218件。(3面)

ホンダ、7月新車1%増  
1 7月17.4%増、37万9058台

ホンダは、7月の中国新車販売が5万2045台と、前年同月比1.3%増加した。東風本田はCR-Vが32%増と好調。广汽本田の雅阁は44%減。1 7月は17.4%増の37万9058台。(時事=5面)

冷蔵庫の生産能力を増強する日立アプライアンスのタイ工場  
「日立コンシューマ・プロダクツ・タイ(HCPT)」



日阪製作所、北京に販売拠点  
プレート式熱交換器など

日阪製作所は、100%出資子会社の日阪上海商貿を通じ、北京市に販売拠点を近く開設する。現地での営業力強化と日阪ブランドの知名度アップが狙い。主力のプレート式熱交換器など販売。(6面)

建機、中国市場の回復に遅れ  
今期の業績予想を修正

中国市場の回復が遅れているため、建設機械各社の業績に影響を及ぼし始めた。中国は金融緩和策だが建機市場は低迷が続く。コマツ、日立建機などが第1四半期で業績予想を修正。(6面)

SBI、健康関連で合併  
富裕層向け/医療・健康サービス

SBIウェルネスバンクは、SBIHDの中国事業統括会社・思佰益中国投資と、中国のハイテク企業傘下の浙江浙大網新聯合技術發展と合併を設立。富裕層に高度な医療・健康サービス。(19面)

8月8日(水)

「いすゞブランド」で中国進出  
江鈴汽車と合併/ピックアップ10万台

いすゞ自動車は、いすゞブランドで中国に進出する。2014年初に江鈴汽車集団との合併でピックアップトラック「D-MAX」を生産・販売し、将来は10万台規模を見込む。(5面)

三菱電、高速エレベーター受注  
成都市/高層ビル2棟に88台

三菱電機は、四川省成都市で建設中の

39階建て高層ビル2棟から高速エレベーターを受注。分速360段の高速エレベーター15台を含む計88台。成都など内陸部への需要が拡大する見通し。(8面)

SMK、重慶市に事務所開設  
自動車・携帯向け開拓

SMKは、重慶市に事務所を開設した。現地スタッフ2人を配置。重慶市と成都地区周辺にある自動車や携帯電話のメーカーなどへの販売強化が狙い。中国での事務所は7カ所目。(8面)

新日鉄、中国でブリキ増産  
宝山鋼鉄の年100万トに迫る

新日本製鉄は、中国・武漢鋼鉄集団(武鋼)と合併で計画中のブリキ製造・販売事業の規模を倍増する。ブリキ原料とブリキを年40万トずつ製造する。宝山鋼鉄の年100万トに迫る。(11面)

三菱マテ、電気接点で中国進出  
素材から加工まで一貫製造体制

三菱マテリアルは、全額出資子会社の三菱マテリアルシーエムアイが東京丸善工業の中国子会社を子会社化。電気接点事業に進出する。加工のほか、素材から加工までの一貫製造体制。(11面)

8月9日(木)

LCDフィルム用粘着剤を生産  
綜研化学/需要見込み進出

綜研化学は、南京市で液晶表示装置の偏光板用フィルム向け粘着剤を2013年春から生産する。現地ではLCDメーカーが増えており、近隣での生産が必要と判断。稼働当初は年数千ト規模。(10面)

セメダイン、上海に販売会社  
工業用接着剤/直販増やす

セメダインは、上海市に工業用接着剤などの販売会社を10月設立する。直接販売を増やす。接着剤、シーリング材、粘着材、特殊塗料などを扱う。これまでタイ、台湾に製造・販売拠点。(10面)

セメダインは、上海市に工業用接着剤などの販売会社を10月設立する。直接販売を増やす。接着剤、シーリング材、粘着材、特殊塗料などを扱う。これまでタイ、台湾に製造・販売拠点。(10面)

日通、合肥市と物流顧問契約  
建機・家電メーカー進出

日本通運は、現地法人の中国日通が合肥市の合肥經濟技術開發區管理委員會と物流顧問契約。日系の建機、家電メーカーが多く進出、近年では医療・医療機器関連メーカーの誘致も積極的。(13面)

大田精工、上海・香港に販売拠点  
カメラ部品・小型モーター用の歯車

大田精工は、上海と香港に相次いで販売拠点を開設した。現地の日系企業向けにカメラ部品や小型モーター用の歯車などを拡販する。香港は、ドル取引を要望する顧客の窓口。(21面)

8月10日(金)

旭硝子、機能化学品の拠点  
広州市/離型フィルム・洗浄剤向け

旭硝子は、広東省広州市に機能化学品の営業拠点を新設する。フッ素系機能化学品の販売や技術サービス、市場調査など。華南地域は電線や離型フィルム、洗浄剤などの用途での需要拡大。(3面)

帝人、中国でリサイクル事業  
ポリエステル製品/合併9月設立

帝人は、中国でポリエステル製品のリサイクル事業を展開するため合併会社を9月設立する。ポリエステル製品を年2万ト、リサイクルポリエステル繊維を年1万9000ト。(12面)

今回は -  
「中国・アジア ダイジェスト」面の  
次回は27日(月)に掲載します。

ひと

日中の架け橋に

「日本と中国の架け橋となるような立派な人にな成長してほしい」と、京セラ会長の川村誠さん。中国から招いた小中学生40人の「中国少年友好交流訪日団」にあいさつ。日本の文化や生活の実情に触れることで得られた「気づきや体験を大切にしてほしい」と激励。(7日=8面)

中国語が人生にも必要に

「社員がアジアへの関心を一層高める必要がある」と熱く語る日本アジア投資社長の細塚政さん。中国語研修を起爆剤にする考え。「中国語が社員一人ひとりの人生にも必要になるかもしれない」と語り、個人、法人の両面から研修制度の設置の意味を説く。(8日=17面)

台風が真上を通過した

「中国工場の真上を台風が通過した」と、車用ナットでトップシェアのフセラシ取締役の北沢章さん。浙江省の子会社の総経理を兼任。被害は免れたが、中国で部品供給の寸断は死活問題。「ライバルと手を組むことも大切。部品が作れなければ負け組にも...」。(10日=5面)

## ASIA

8月6日(月)

伊藤製作所、インドネシア生産  
自動車用の順送プレス金型

伊藤製作所は、インドネシア・プカシ県で自動車用の順送プレス金型と部品を2013年夏から生産する。現地財閥ニュー・アルマタの企業と合併会社、3年後に売上高約7億円を見込む。(1面)

日立建機、インドの組織を強化  
新興国テコ入れ

日立建機は、営業統括本部のインド事業部に、開発生産本部と営業本部を新設する。インドでは連結子会社を通じ事業展開。今回、事業部の組織を強化、新興国向け製品開発や販売を強化。(7面)

亀田製菓、ベトナムに合併会社  
米菓製造/現地市場35億円

亀田製菓はベトナムに米菓製造の合併会社を9月に設立する。ハノイ市に工場を建設、2013年4月稼働。資本金は500万(約3億9000万円)。ベトナムでの米菓市場は年間約35億円。(16面)

8月7日(火)

スズキ、タイ倍増  
年産2万5000台/「スイフト」好調

スズキは、10月をめどにタイ工場の年産能力を2倍の2万5000台にする。タイで3月に発売した小型車「スイフト」の現地での受注が想定以上に好調なため、前倒しで増産する。(1面)

曙ブレーキ、タイ工場増産  
新型「ミラージュ」増産対応

曙ブレーキ工業は、タイ工場自動車用ブレーキ部品の生産能力を増強する。摩擦材を2倍の月40万個以上に、キャリアを70%増の同12万個に。三菱自動車の新型「ミラージュ」増産対応。(5面)

台湾TSMCが出資  
蘭ASML/次世代製造装置プロ

オランダの半導体製造装置大手・ASMLは台湾TSMCの出資を受け入れる

方針。TSMCは11億1400万(約1080億円)を投じ、ASMLの次世代の半導体製造装置の開発プロに参画。(8面)

南武、タイ工場を稼働  
特殊油圧シリンダー/月300本

南武が、タイで特殊油圧シリンダーの自前の工場を稼働。生産能力は月300本で本社工場と同程度だが、受注拡大に伴い設備を増強する。生産するのは金型に付属する油圧シリンダー。(23面)

8月8日(水)

パキスタンの委託生産を停止  
ダイハツ/「クオアレ」

ダイハツ工業は、パキスタンでトヨタグループの合併会社に委託生産していた「クオアレ(日本名=ミラ)」の生産を停止した。同国の排ガス規制に対応しても、採算が合わないと判断。(5面)

ガスエンジン、東南アに拠点  
川重/現地エンジと連携

川崎重工業は、東南アジアにガスエンジンで海外初めてとなる販売拠点を2012年度内にも新設する。営業・サービス体制を拡充し、現地エンジニアリング会社などと連携。(6面)

松浦機械、台湾製MC2機種  
高品質主軸/30・40%低価格

松浦機械製作所は、低価格の立型マシンニングセンター(MC)2機種を発売した。台湾の大手メーカーからOEM調達した機体に高品質な自社製主軸を搭載した。30・40%低価格。(6面)

JFEエンジが航空機給油設備  
ベトナムの空港から受注

JFEエンジニアリングは、ベトナムのノイバイ空港向けに航空機用燃料給油設備のEPC(設計、調達、建設)業務を受注した。第2ターミナルに2014年末に完成する予定。(6面)

三菱重工、2地域に総代表  
アジア・パシフィックと南米

三菱重工工業は、南米とアジア・パシフィックの両地域に、地域経営の方向付けを行う総代表を設置する。成長が見込める重要な市場として、中国、欧州、米州に次いで総代表を置く。(7面)

ERP、インドネシアで拡販  
東洋ビジネスとネットマークス

東洋ビジネスエンジニアリングとネットマークスは、統合業務パッケージ(ERP)をインドネシアで拡販するために協議する。日系企業へのERP導入支援を強化する。(10面)

味の素、ベトナムで栄養士育成  
寄付講座、10月開設

味の素は、ベトナム国立ハノイ医科大学とベトナム保健省管轄の国立栄養研究所と共同で、ベトナムでの栄養士育成に向けた取り組みを始める。指導者養成寄付講座を10月1日から開設。(15面)

近鉄エクス、台湾に大型倉庫  
桃園国際空港に隣接

近鉄エクスプレスは、台湾唯一の空港自由貿易港区で桃園国際空港に隣接する雄雄航空自由貿易港区に大型倉庫を2014年1月開設。延べ床面積3万9110平方。国際物流業者で最大規模。(15面)

8月9日(木)

日立、海外で幹部予備軍研修  
11月/シンガポール

日立製作所は、11月にシンガポールで海外拠点の幹部候補生を対象した研修会を初めて開く。研修ではリーダーとして必要な知識の習得以外に幹部候補としての自覚を持ってもらう。(3面)

堺商事、インドネシアに合併  
衛生材料関連商品

堺商事は、インドネシアのPTマルチ・スプンディ・ジャヤと、現地に衛生材料関連商品の製造・販売の合併会社「PT・S&Sハイジーン・ソリューション」を9月に設立する。(3面)

ベトナムでの生産品目拡大  
日本トムソン/直動案内機器

日本トムソンは、ベトナム工場の生産品目を2013年から増やす。円高に対応。小型直動案内機器を生産しているが、新たに駆動体が円筒のタイプも生産。ベトナムでの新工場建設を検討。(6面)

サンコー商事、インド第2拠点  
工作機械・計測機器/日系支援

サンコー商事は、インド西部のジャラト州に営業拠点を置く検討。工作機械や計測機器の顧客である現地の日系自動車メーカーへのサポートを充実。イン

ド現地法人の事務所。(6面)

チノー、バンコクに合併  
計測制御機器・センサー/正式発表

チノーは、タイのバンコクに現地企業との合併会社を10月に設立すると正式発表。ASEAN地域で計測制御機器やセンサーの販売・サービス事業を展開する。チノーが49%出資。(6面)

タイで冷蔵庫9割増  
日立アプライアンス/年150万台

日立アプライアンスは、2015年度をめどに、タイ工場の冷蔵庫の生産能力を9割増の150万台に増強する。大容量タイプなどの冷蔵庫を経済成長著しいアジアや中東向けに出荷していく。(8面)

日商エレ、インドネシア子会社  
通信ネットワーク構築支援・保守

日商エレクトロニクスは、インドネシアに子会社を設立。現地のネットワーク技術会社インフラセルヌサタマとの合併。現地の通信ネットワーク構築支援や保守・運用を開拓する。(9面)

買収した韓国企業を統合  
マクロミル/ネット調査事業を強化

マクロミルは、2月に買収した韓国エムブレインと、韓国法人のマクロミル・コリアを統合する。自動インターネット調査事業の強化が狙い。社名をマクロミル・エムブレインに改める。(9面)

塩野義、韓国に投入  
特発性肺線維症の治療薬

塩野義製薬は、特発性肺線維症の治療薬「ビレスパ」(一般名ビルフェニドン)について、韓国でライセンス契約をしている日東製薬が製造販売承認を取得した。塩野義が製品を供給。(11面)

8月10日(金)

ダイナム、香港上場  
アジア展開の足場/ステータス向上

パチンコホール運営のダイナムジャパンHDが、香港証券取引所に上場した。日本企業が香港市場に単独上場したのは初めて。企業ステータスの向上と、今後のアジア事業展開のため。(2面)

シャープ、主力銀行に支援要請  
鴻海出資見直し/財務体質の改善策

シャープが、主力取引銀行に金融支援を要請した。業績悪化で自己資本の毀損が進み、鴻海精密工業からの出資も株価低迷で減額される恐れ。新たな財務体質の改善策などを示す必要がある。(3面)

低減で減額される恐れ。新たな財務体質の改善策などを示す必要がある。(3面)

インドネシアに10億ドル投資  
中国アルミなど/アルミナを確保

中国アルミなど3大アルミ生産会社は、インドネシアのボーキサイト鉱山とアルミ精錬所に少なくとも10億ドルを投資する計画。アルミ原料のアルミナなどの輸入を確保する。(3面)

シャープ、「アクオス」80型  
インドネシア/現地最大

シャープは、インドネシアで液晶テレビ「アクオス」の80型を発売する。想定価格は73万円前後。現地で最大。ブラウン管テレビの累計生産が1000万台。液晶テレビは2010年から生産。(8面)

アジア結ぶ大容量光ケーブル  
NTTコム/第1弾はシンガポール

NTTコミュニケーションズは、アジア主要都市をつなぐ高信頼・低遅延の大容量光海底ケーブル「アジア サブマリン ケーブル エクスプレス」の運用。第1弾は日本・シンガポール。(9面)

東南ア特許庁と提携  
日本パテント/DB整備

日本パテントデータサービスは、タイ、マレーシア、シンガポールの特許庁と特許情報データベース(DB)分野での提携交渉に入った。3カ国は自国の特許情報のDB化が完了していない。(9面)

産廃発電、ベトナムで事業化へ  
八千代エンジが調査/処理量500ト

八千代エンジニアリングは、ベトナムで産業廃棄物発電施設の実業化調査に着手する。建設した場合の初期投資額は60億円、運営費は約70億円。500ト以上の

処理が可能な設備を提案。(13面)

ダンロップスポーツ、タイ販社  
バンコク/ゴルフ用品

ダンロップスポーツは、タイ・バンコクにゴルフ用品の販売子会社「スリクソンスポーツ(タイランド)」を9月に設立する。ボールの「ゼクシオ」や「スリクソン」などゴルフ用品を販売する。(15面)

台湾・工業技術研究院と覚書  
東北イノベーションキャピタル

東北イノベーションキャピタルは、台湾の工業技術研究院と東北地方の中小企業支援で覚書。機械や環境、素材・ナノテク分野に強みを持つ中小企業と台湾企業を結びつけて市場を開拓。(25面)

ひと

ファッションのニーズは不変

「欧州危機、中国や新興国の成長の鈍化、日本では電力の逼迫懸念など内憂外患」と、日本繊維産業連盟会長で東レ相談役の下村彬一さん。「中長期的にはアジアが世界経済をけん引し、製品安全問題への意識も高まる。ファッションのニーズは不変」とみる。(6日=10面)

アジアを触媒に成長

「欧米が中心だった」と振り返るのは、酵素事業国内首位の野村エンザイム社長の天野源之さん。海外の大半は欧米向け。「アジアはコメ文化。日本の食の共通点も多い。経済成長が進み、医療・産業用での需要も見込める」。アジアを触媒に成長する考え。(7日=17面)

「アリサン」を知らない

「海外駐在員が日本人コミュニティにとどまってしまうといけない」と、丸の内ブランドフォーラム代表の片平秀貴さん。消費財メーカー5社とインドネシアでマーケティング合宿。「8年駐在してもアリサンを知らない。現地コミュニティに入れてない」。(8日=22面)

### 企業チャネル

固有の技術と製品で存在感を示す日本のものづくり企業。各社各種の知恵と工夫に富んだ企業の中から、貴社にとって選りすぐりの企業が見つかります。

### 特集チャネル

ものづくりを取り巻くさまざまな切り口であなたにコンテンツを掲載。話題のイベントや業界界などにスポットを当てた企画。ビジネスの動きが読み取れます。

### 読み物チャネル

インタビュー、レポート、コラム...ものづくりに関する最新の視点と、課題を語るタレント掲載。掲載したい記事は1回読み切り記事の場合は、発見をひらきのヒントが得られます。

### 教育イベントチャネル

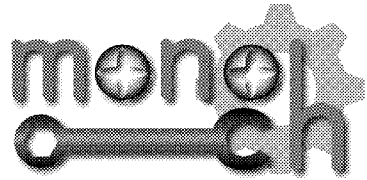
ものづくりに関する全国各地のイベント・セミナー情報を掲載。開かれたイベントを含む情報入手を通じて、貴社の情報感度とネットワークを高めます。

### 専門・技術チャネル

ものづくりを支える多様な技術と専門技術を幅広く紹介。業界や製品に特化したピンポイント解説で、貴社のインテンションが深まります。

### 地域チャネル

全国各地のものづくり企業を地域単位で紹介。地場産業など、その地域ならではの個性派企業が見つかります。



ものづくりビジネスに関するお役立ちコンテンツを集めた  
日刊工業新聞社が運営する情報サイトです。

# ものづくり チャネル

ものづくりチャンネル



日刊工業新聞社 電子メディア事業室

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町1-41 TEL. 03-5644-7090

http://mono-ch.nikkan.co.jp/m/

mono-ch@nikkan.co.jp